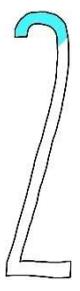


おひさまだより



2024年度2月
社会福祉法人 尚徳福社会
生麦保育園 園長 田淵弘子

2月は木の芽月ともいわれています。園庭の木々もきつと寒さに耐えながら、芽吹くのを待っていることでしょう。そんな木々の姿を見ていると、子どもたちの中にもあふれんばかりの成長がたくさん積み重なり、今にも芽吹くのを待っているように思います。たくましく育ててほしいと思います。

感染症はまだ油断なりません。発熱は身体を守ろうとして起こるものです。心配なのは熱に伴う他の症状で、朝の検温で解熱していることもありますが、体調を崩しているサインでもあるのでくれぐれも大事を取ることにご協力お願いします。

年長組は今月小学校訪問があります。一年生との交流や学校探検等、とても楽しみです。『小学校ってどんなところ?』『小学生になったら何をするのか?』と入学を目前に控え、不安や緊張を抱えている子どもたちは小学生に温かく迎えてもらい、入学への楽しみや希望に変わることでしよう。

2月の行事



3日(月) 豆まき(全クラス)	恵方巻(4歳きりん組・5歳ぞう組)
6日(木) 英語であそぼう	
7日(金) 避難訓練	
12日(水) おはなし会	
14日(金) ぞう組お別れ遠足	
15日(土) 令和7年度新入園児説明会	
17日(月) 乳児誕生会	
20日(木) 英語であそぼう	
25日(火) 幼児誕生会	
27日(木) 不審者訓練	



あひる組

健脚なあひる組ですが、休み明けの散歩は疲れてしまい、散歩カーを押して迎えに行ったことがありました。それ以来、散歩に出る時にどこまで行くのか気になりますが、しっかりと手を繋いで帰ってくる姿を見ると安心しています。先日の避難訓練は震度 5 で散歩先が火事になりいつもと違う道順で戻ってくる、また地域防災拠点である生麦小学校まで移動するという訓練をしました。途中でごねてしまう子もいましたが、保育士の声掛けてしっかりと歩けていました。もう私の心配（避難車でのお迎え）もなくて大丈夫のようです。



りす組

フォークでの食事が始まりました。食材をつかみやすくなったようですが、こぼすことはあまり変わらないようです(笑)こぼすことなど気にせず…顔にごはんやおかずが付いていても気にせず…満面の笑みで食べているので可愛いのと遅いのと…複雑です。『じぶんで〜!』が多くなり、一人で黙々と取り組んでいます。こちらの手伝う?の声掛けに首を横に振り、『じぶんでする!!』と返事をします。大人がするように上手にたためなくても、前後ろが逆でも時間がかかっても、自分ですることに目覚めています。



うさぎ組

ぞう組がお昼寝のお手伝いをしてくれています。静かに座ってトントン…その姿は小さな保育士のようです。うさぎ組の子どもたちも上手に甘えて、トントンされてきもちよさそうに入眠しています。寝起きの時間になると、布団をたたんでくれたり、絵本を読んでもくれたり心地よい時間を過ごしています。きっと自分たちがぞう組になったときに、小さいクラスの子たちに優しくしてあげられるような心が育っていることでしょう。



きりん組

一つのことをみんなで話し合ったり、意見を出し合ったりする時間をとても大切にしています。保育士の働きかけもありますが、子どもたちの興味関心から話し合うこともあります。その場になくても子どもたちの『ふ〜ん、そうなんだあ…』と真剣にうなずく姿を想像するだけでも成長を感じます。まだまだけんかも多く、自分の気持ちを上手に伝えられなかったり、相手の気持ちに気付けなかったりすることもあります。日々の生活の経験が子どもの成長につながっているようです。



ぞう組

今までは相手の言葉や行為を許せていたことも、自己がはっきりしてきたことで自分の言葉で『いやだった』と相手に言えるようになってきました。正直に自分の気持ちを表現できることは良いことと思う反面、言われた友だちの気持ちにも気付けるようになってほしいです。言葉って本当に難しいですね。やり取りを繰り返すことで表現することを身につけていくのかもしれませんが、そのためにも友だちとの関わりを充実させ、いろいろなことを経験してほしいです。

【職業体験】

先月の園だよりでもお知らせしていましたが、生麦中学校の 2 年生が職業体験で 2 日間幼児クラスに入りました。短い時間でしたが、子どもたちと一緒に走ったり、折り紙をしたり人形遊びをしたり…楽しそうな中学生でした。職員のケガ対応、けんかの仲裁などもしっかりと見学していたようで、『保育士って大変』、『まだはっきりしていないけれど、将来保育士になることを選択肢に入れたい』などの感想がありました。よい体験になったようです。